

光がいつぱいに入る図書館の空間は、  
子供たちが本を耳で聞き、  
あるいは好きな時に  
絵本を読む場所であつた。

田中 優子  
(法政大学前総長)



田中 優子  
(2022年度 講師)

2022年の6月に、塩尻市立図書館主催の「本の寺子屋」で、江戸の本の話をした。「絵と文字で読む江戸の本」についてである。光がいつぱいに入る図書館の空間は、子供たちが本を耳で聞き、あるいは好きな時に絵本を読む場所であつた。うらやましい。私は学校の図書館に行く以外は、古本屋に入りこんでいた。それでも本が好きになつたが、こういうところがあればもっと多様な本を読み、場所と本とが結びついて、さらに明るい力強い本読みになつたらう。

「信州しおじり本の寺子屋」は、塩尻市立図書館が中心となつて、生涯読書を推進するために設置するものです。原型は、地域の人々の生涯学習と出版業界人の研修の場として、1995年に今井書店グループが鳥取県米子市に開設した「本の学校」にあります。

本事業は、その精神を受け継ぐと共に、塩尻市が出版王国と言われる信州に所在し、日本の出版文化に偉大な軌跡を残した筑摩書房の創設者、古田晁の生誕の地であることに鑑み、講演会、講座等のさまざまな事業を通じて、「本」の可能性を考える機会を広く提供するものです。

活字離れといわれる昨今の状況に対して、著者、出版社、書店、図書館などが連携して本の魅力を発信し、出版文化の未来に寄与するために、図書館を「本の寺子屋」とし、読者も含めてここに集う人々の知恵の交流を促すことで、地方発の文化の創造と発信に挑戦したいと考えております。

皆様のご支援、ご参加をお願いいたします。

| 主催 | 塩尻市・塩尻市教育委員会                                                                                                                                                                                                       |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 企画 | 長田 洋一<br>(編集者・元河出書房新社文藝編集長)                                                                                                                                                                                        |
| 顧問 | 永井 伸和<br>喜入 冬子                                                                                                                                                                                                     |
| 後援 | 塩尻書店組合<br>長野県図書館協会<br>信州大学<br>松本大学<br>朝日新聞松本支局<br>信濃毎日新聞社<br>MGプレス<br>市民タイムス<br>中日新聞社<br>長野日報社<br>毎日新聞松本支局<br>読売新聞長野支局<br>エルシーブイ<br>テレビ松本ケーブルビジョン<br>NBS長野放送<br>NHK長野放送局<br>SBC信越放送<br>TSBテレビ信州<br>日本ハイコム<br>(順不同) |

後援、協賛いただける団体、企業等を募集しています。

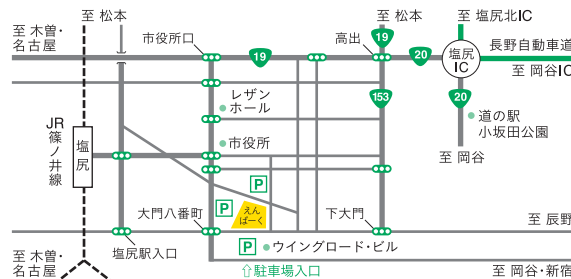
#### 塩尻市立図書館

〒399-0736 塩尻市大門一番町12番2号 えんぱーく内  
TEL 0263・53・3365 FAX 0263・53・3362  
E-mail tosho@city.shiojiri.lg.jp

【電 車】JR塩尻駅下車、東口(正面口)から徒歩約8分

【車】長野自動車道 塩尻ICから約10分

※駐車場は市民交流センター平面駐車場または市営大門駐車場をご利用ください。



<https://www.library-shiojiri.jp/>

本の可能性を考えたい。

第12期  
信州しおじり

SHINSHU SHIOJIRI  
HON NO TERAKOYA

# 本の寺子屋

2023

【講師一覧】  
齊藤 政喜  
御厨 貴  
上野 千鶴子  
広松 由希子  
大槻 慎二  
宮澤 優子  
嶋田 学  
高橋 敏夫  
望月 衣塑子  
真珠 まりこ  
堀内 美江  
野々井 透  
安藤 宏  
三浦 雅士  
安田 登  
佐藤 藤子  
久間 十義  
いわいとしお

塩尻市立図書館  
SHIOJIRI CITY LIBRARY

本の寺子屋

LECTURE

講演会

企画展

EXHIBITION

5・28(日) 第12期開講式

齊藤政喜(紀行作家・バックパッカー)  
そして僕は紀行作家になった

6・25(日)

御厨貴(政治学者・東京大学名誉教授)  
オーラル・ヒストリーから見えて来る政治

7・23(日)

上野千鶴子(認定NPO法人ウイメンズアクションネットワーク  
(WAN)理事長・社会学者・東京大学名誉教授)  
女の子はどう生きるか 男の子もどう生きるか

7・29(土)

広松由希子(絵本評論家・作家)  
日本の絵本 来し方行く末

8・6(日)

大槻慎二(田畑書店店主)  
編集者の仕事、版元としての展望

8・8(火) 学校職員向け講座

宮澤優子(高森町立高森北小学校・高森町子ども読書支援センター司書)  
GIGAスクール時代の学校図書館  
―まだ間に合うはじめての一步―

8・28(月) 公共図書館職員向け講座

嶋田学(京都橘大学 文学部 歴史遺産学科 教授)  
図書館の未来を考えるために、  
今、振り返っておきたいあれこれ

9・10(日)

高橋敏夫(文芸評論家 早稲田大学名誉教授)  
歴史時代小説ブームの現在  
―新世代作家たちの冒険―

10・1(日)

望月衣塑子(東京新聞記者)  
戦争する国へ突き進むいま  
―軍産複合体国家化にいかにか抗うか―

10・8(日)

真珠まりこ(絵本作家)  
もったいないばあさんと絵本の話

10・22(日)

堀内美江(黒姫童話館 ミヒヤエル・エンデ資料監修者・ドイツ文学者)  
ミヒヤエル・エンデが教えてくれたこと

10・28(土) 古田晁記念館文学サロン

野々井透(2022 太宰治賞受賞者・小説家)  
書きたいものに、近づいてゆく  
安藤宏(東京大学教授)

11・5(日)

三浦雅士(文芸評論家)  
石坂洋次郎と宮崎駿―家族の現在を考える―

11・19(日) 地域文化サロン

安田登(能楽師・佐藤 露子(俳優)  
能楽と語りで聴く古典「耳なし芳一」

12・10(日)

久間十義(小説家)  
新聞記者と小説家の間(はざま)で

1・21(日)

いわいとしお(アーティスト 絵本作家)  
アイデアを形にする楽しさを子どもたちに！  
―「100かいだてのいえ」から広がる世界―

## 本の寺子屋 既刊本のご紹介

信州しおじり本の寺子屋  
10周年記念出版

『「本の寺子屋」新時代へ―  
塩尻市立図書館の挑戦2』

「本の寺子屋」研究会著、東洋出版 2021年



『「本の寺子屋」が地方を創る―  
塩尻市立図書館の挑戦』

「本の寺子屋」研究会著、東洋出版 2016年



8・4(金)―8・31(木)

まるやまあやこ絵本原画展  
『たんぽぽのふね』

協力：絵本美術館 森のおうち

9・2(土)―10・1(日)

たなか鮎子絵本原画展  
『森のささやきの標本室』

協力：エイアンドエフ株式会社

12・9(土)―12・28(木)

ミヒヤエル・エンデ展  
『モモ―原書出版50周年―』

協力：黒姫童話館

2・3(土)―3・3(日)

宇賀神拓也写真展  
『掘り下げる写真―人と土の営み―』

3・9(土)―3・31(日)

岡本雄司絵本原画展  
『いろんなでんしゃはつしやします』

…えんてらす開催

…えんぱーく開催

「信州しおじり 本の寺子屋」は、2012(平成24)年7月29日(日)に開講しました。年間を通して本の魅力を発見し、本の可能性を考えるためのさまざまな講演会や講座、企画展などを開催します。各事業の詳細は個別に発表します。



子ども本の寺子屋も  
開催しています。  
くわしくは  
別リーフレットを  
ご覧ください。

